

大会経費の最終報告について

	大会予算V5 (2020年12月)	見通し (2021年12月)	最終報告 (2022年6月)
組織委員会	7,210億円	6,343億円 V5比 ▲867億円	6,404億円 V5比 ▲806億円 見通比 +61億円
国	2,210億円	1,939億円 V5比 ▲271億円	1,869億円 V5比 ▲341億円 見通比 ▲70億円
東京都	7,020億円	6,248億円 V5比 ▲772億円	5,965億円 V5比 ▲1,055億円 見通比 ▲283億円
計	1兆6,440億円	1兆4,530億円 V5比 ▲1,910億円	1兆4,238億円 V5比 ▲2,202億円 見通比 ▲292億円

- 組織委員会は、収入・支出ともに6,404億円となり、収支均衡となった。
- 国と都が負担する経費も含めた大会経費全体は1兆4,238億円で、2016年12月に初めて大会経費の全体像を明らかにしたV1予算の1兆5,000億円を762億円下回る額で大会を実施することができた。
V5予算(2020年12月)の1兆6,440億円から2,202億円下回った。
見通し(2021年12月)の1兆4,530億円から292億円下回った。
- 令和3年12月21日の三者合意(「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の大会経費の取扱いについて」)に基づき、国と都は、新たな予算措置を講ずることなく対応できた。
- 最終的に、国はV5予算から341億円下回り、「見通し」から70億円下回った。
都はV5予算から1,055億円下回り、「見通し」から283億円下回った。